

夕張川かわら版

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です



令和2年 盛夏

其の
三七

夕張シユーパロダムの取り組み ダム見学、湖面歩き、映画を見る会



●日時：令和2年2月20日（木）、22日（土）

●場所：夕張シユーパロダム

私たちが生活するうえで欠かせない水。大切な水を活かし人々の暮らしを守るために、ダムは、「水の調整役」として働いています。そんなダムをPRしようと様々な取り組みが行われています。2月にはダムの施設見学と氷結した湖面を歩く催しが実施されました。地元の住民だけでなく、ダムが大好きでダムカード集める「ダムマニア」さんが全国から集まり大盛況でした。

（第二回夕張シユーパロダムで映画を見る会
は新型コロナウイルスの影響で中止）

参考：「夕張シユーパロダムで映画を見る会」JR1年8月

10日開催

ダム施設（利水放流操作室）にスクリーンと客席を設けたダム映画館で夕張ゆかりの映画を見る催します。

かつての夕張住民等、道内外から約30名が参加しました。



結氷した湖面を歩く



ダム施設内を見学



ダム直下で堤体を仰ぐ

サケ稚魚 放流

●日時：令和2年4月4日（土）

●場所：夕張川支流雨煙別川の支流
「高橋の沢川」

（稚魚の里親さん達による放流）→



中学生の川の学習

●日時：令和2年7月14日（火）

●場所：夕張川支流「雨煙別川」

新型コロナウイルスの影響
で自粛する川の学習もある中、
栗山中学校の2年生66名が
川の学習活動を行いました。

採取した主な生物：エゾウ
グイ、フクドジョウ、ドジョウ、ト
ウヨシノボリ、ギンブナ、トゲウ
オ類、スナヤツメ、モクズガニ、
トビケラ類、ヤゴ（サナエトン
ボ科、ヤンマ科）、スジエビ、マ
ツモムシ

雨煙別川での
環境ハウス裏の
活動



川と生活 頭首工

頭首工は、川から水を取るための施設で堰で水位を上げ、水路へ水を入れます。水を堰き止めるという機能はダムと同じです。（ダムと堰の違い：15m以上はダム、それ以下が堰になります。）用水路の頭の部分にあるためこの名前があるようです。稲作ではたくさんの水が必要になるため昔から人は堰を築き河川水を利用しようしました。農業用水のための大重要な施設ですが、魚類等生き物の移動が疎外されるため、最近は魚道が併設されるようになりました。



栗沢頭首工（下に魚道入り）

川の指導者講習



●日時：令和2年6月21日（日）
●場所：夕張川 栗沢頭首工魚道付近

栗沢頭首工の魚道付近で川の指導者講習が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症に配慮して一般公募はせずにNPO関係者と河川管理者のみの参加でした。川の学習教材として頭首工や魚道をどう使えばよいか、また安全確保はどうすればいいか等を流域生態研究所の妹尾氏から教わりました。投網（採捕許可取得済み）を使った魚類調査も行われて、ハナカジカ、ウグイ、エゾウグイ、トゲウオ類、フクドジョウが確認されました。

※特別に許可を得て魚道に入ってます。普段は魚道には入らないようにしましょう。



「ブロックの滑り」を確認



投網を打って魚類採取



「採取した魚類の学習」

夕張川の生き物たち ハナカジカ

ハナカジカは、不細工だけど愛嬌がある、「ブサカワ」という表現がぴったりの魚です。冷たい清流を好む純淡水魚で上流から中流部で見られます。とてもよく似ているエゾハナカジカは、海へ下る魚で海から川を遡上、中流から下流で暮らします。ハナカジカは肉食性で水生昆虫や小さい魚を食べます。右の写真でも何かを食べたのでしょうか、腹がパンパンでした。各地で郷土料理に使われた魚で昔は貴重なタンパク源でした。干してから「カジカ酒」にする人もいるようです。水質悪化、水温の上昇に弱く、近年数が少なくなっている魚です。川を大切にしましょう。

参考文献：「北海道の全魚類図鑑」北海道新聞社



栗由大橋下流に新しい活動フィールドができました。

由仁町と栗山町を結ぶ栗由大橋の下流右岸の樹木が伐採されました。この橋周辺は、これまでにも川下り（阿野呂川→由仁浄化センターアー下流）の中継点として休憩や川流れ等で利用されてきた場所です。昨年、樹木伐採され広いスペースが生まれました。今後、ボートの練習、川流れのフィールドとしての利用が期待されます。



栗由大橋下流右岸

夕張川クイズ



夕張川支流ハサンベツ川（川の近くの水溜まり）で見つけました。何の卵でしょうか？

①▶



②▶



答えは紙面
最下欄をご覧
下さい



発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索